

今回のテーマ

スマホのルールづくり



ルールづくりとペアレンタルコントロール ドコモショップ屋島店 小松義幸

「お子様にいつスマホを持たせるか？」これはとても難しい問題です。結論から言えば、**お子様が必要になった時に持たせてあげるのがベストなのではないでしょうか？**

「いつ持たせるか」よりも、「なぜ持たせるか」を重要視してあげてください。家族との連絡に使うのか？友達との連絡に使うのか？学校の授業で使うのか？息抜きのゲームに使うのか？

スマホの用途を親子でしっかり話し合うことが大事なように感じます。スマホを持たせた時は適切なペアレンタルコントロールもお忘れなく。お子様のスマホにフィルタリングの機能やアプリを設定することはとても重要です。ペアレンタルコントロール機能で**利用時間を制限**することで使いすぎや依存を抑止し、フィルタリング機能で**不適切なサイトやアプリをブロック**してあげることでトラブルに巻き込まれることを防止できます。

安心してスマホを利用するために必要なフィルタリングですが、お店にいらっしゃるお客様の中にはフィルタリングに使用したパスワードがわからなくなって制限が解除できなくなり、初期化、修理、買い替えを必要とするお客様もいらっしゃいます。**制限やブロックはかけた**

らかけっぱなしにするのではなく親子で話し合っ、適宜調整してあげることが大切です。

スマホはとても便利なツールですが、未成年のうちは親の管理も必要です。お子様だけ、親御様だけで利用するのではなく親子一緒にルールと機能を設定して、安心、安全に付き合ってください。



小松義幸 プロフィール

ドコモショップ屋島店勤務。スマホ操作案内歴9年。スマホ教室講師歴4年、年300回登壇経験あり。出張スマホ教室 平均月1回実施（開催場所：ショッピングセンター、コミュニティセンター、公民館等）。2020年3月にKSB瀬戸内海放送「たまみとスマホ」でスマホ教室コーナーに出演。2023年「親子で考えよう！子どものスマホデビュー講座」の講師を務める。

子どもの成長に合わせたルールづくりを

香川県教育委員会

ネット利用は便利で楽しいものですが、その反面、使い方を間違えると大きな問題につながることも。子どもたちが正しく安全にネットを使っていけるように、よりよいルール作りをしていきましょう。ここではルール作りのポイントを紹介します。

①子どもの成長段階にあったルールを

子どもの成長段階に合わせて、その能力にあった使い方を選びましょう。兄弟姉妹の上の子に合わせるなど、背伸びさせるのはよくありません。

②子どもとルールをつくる

ルールは子どもと一緒に考え、子ども自身が自分で作ったという実感ももてるのが大切です。その際、どんな危険があるのかを伝えて、ルールの必要性を理解させましょう。その上で子どもの主張も聞き入れてください。また、家族のルールも一緒に決め、みんなで守っていくようにするのもいいですね。

③守れなかったときにどうするかも決める

ルールが守れなかったときにどうするかを事前に子どもと話し合っ決めておき、毅然と対応しましょう。また、「守れて当たり前」になっ

しまうと、「守ろう」という意欲が低下してしまいます。一定期間守れたら家族で楽しいおでかけをするなど、うれしいことがあるといいかもしれません。

④子どもの成長等に合わせて定期的に見直す

子どもたちはどんどん成長していきます。それに合わせて、ルールを見直していきましょう。ルールを緩める場合や新しいアプリを入れる場合は、その危険性を伝え、話し合うことが大切です。

ルール作りのポイントを4点お伝えしましたが、普段からネットの利用について話をすることも大切です。そうすることで、小さなことでも相談しやすくなります。子どものネット利用に興味をもち、時々話をしながら子どものネット利用を見守っていきましょう。





今回のテーマ

SNSトラブルから子どもを守る

SNSを安全に利用させるためには

ITジャーナリスト 高橋 暁子

利用対象外でも小学生のSNS利用率は3~5割

小・中学生も、学校からタブレットやPCを借りて利用するようになりました。小学校の中～高学年からスマホを持ち始める子どもも増えています。それに伴って、SNSを利用する子どもが増えてきました。SNSを安全に利用するためには、どうすればいいのでしょうか。

子どもに人気のSNS、YouTubeやTikTok、X(旧Twitter)、Instagramなどはすべて13歳以上対象です。連絡用に使われるLINEも12歳以上推奨です。本来小学生は、SNSの規約で利用対象外とされているのです。

しかし、実際は多くの小学生がSNSを利用しています。NTTドコモモバイル社会研究所によると、SNSの利用率は低学年で34%、高学年では51%に上ります。もっとも使われているサービスはLINEが最多ですが、小学校低学年女子ではTikTokが上回ります。

約束・見守りの上で安全設定活用を

LINEなどにおけるコミュニケーショントラブルは多く、いじめに発展することもあります。多くのSNSは、投稿を不特定多数の人が見ることができます。成人とも知り合い、交流することができます。

トラブルや被害に巻き込まれるリスクを防ぐためには、まず保護者が利用しているスマホやタブレット、アプリで用意されている安全のための設定やサービスを知り、設定する必要があります。

iPhoneにはスクリーンタイム機能、Androidにはファミリーリンク機能、あんしんフィルターなどのフィルタリングサービスがあるので、活用しましょう。TikTokやInstagram、YouTubeなどにも、未成年のための安全設定が用意されています。

悪口や個人情報は書かない、顔写真は投稿しない、知らない人に会いに行かないなどの約束を決めて、利用を見守りましょう。子どもの安全を見守れるのは保護者だけなのです。

高橋 暁子 プロフィール

SNS、10代のネット利用、情報モラルリテラシーが専門。スマホやインターネット関連の事件やトラブル、ICT教育に詳しいITジャーナリスト。成蹊大学客員教授。全国の小中高校大学、自治体、団体、企業などを対象に毎年50回ほどの講演・セミナーを行っている。令和2年より「青少年を取り巻く有害環境対策の推進」技術審査委員会技術審査専門員(文部科学省より委託)等、省庁からの依頼も多い。

小学生のSNS利用で気を付けるポイント

TikTok ・ Instagram	保護者のスマホでの閲覧に限定するなど、保護者の目の届く範囲での利用に留める。 中学生以降で利用する場合は、正しく年齢を登録し、非公開アカウント、コメント制限などの安全対策や、ペアレンタルコントロールの設定をする。
LINE	家族や学校の友だちに限定して使用する。 「プライバシー管理」や「友だち」の設定をする。 安易にグループに参加しない。

子どもをインターネットトラブルから守るために

香川県警察本部

全国的にSNSをきっかけとして犯罪被害に遭った児童(18歳未満の者をさす)数は、高水準で推移しています。県内においても、R4年中における被害児童数は前年の2.7倍、中でも、児童買春・児童ポルノで被害に遭った児童は前年の4倍以上に増加しており、その半数は小・中学生となっています。また、被害ばかりではなく、遊び半分や悪ふざけで行ったことが犯罪となり、加害者になってしまうケースも増えています。

『青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律(H24.2.1)』には、「保護者は、インターネット上に有害な情報があることを理解し、利用の管理、監視を行い、使い方を教える努力をすること」と明示されています。大切なお子様をインターネットトラブルから守るためには、以下の点について保護者が理解した上で、しっかりと教えていく責務があると思います。

①個人情報分かる書き込み、投稿はしない。

最近では、個人情報を得るために、少年になりすましてオンラインゲームに参加している者もいます。書き込みだけでなく、ボイスチャットでの発言にも注意が必要です。

②ネットで知り合った相手と子どもだけで会わない。

県内の小学生の3.9%(100人中約4人)がネットで知り合った相手と会ったことがあると回答しています(R4県教委アンケート)。会うはずがないという思い込みは危険です。

③ネットで知り合った人に、自撮り画像・動画や悩みの相談内容を気軽に送らない。

「グルーミング」という手なずけ行為で、子どもたちに巧みに近づき、親しくなろうとします。まずは真っ先に相談してもらえるように、信頼関係を構築しましょう。

④一度投稿した内容は簡単に削除することができない。

いくらグループ内であっても、制限をかけていても、ネット上への書き込みは、常に不特定多数への発信であると考えてください。将来の受験、就職等にも影響してきます。

⑤安易な書き込みや投稿が、自分だけではなく家族や大切な人たちの人生さえも狂わす危険性がある。

ネット上の炎上事案は、本人だけではなく家族も含めた個人情報が、永遠にさらされ消えることはありません。



今回のテーマ

親子で学ぶスマホ・ネットの使い方

見守りとフィルタリングで子どもをネットトラブルから守ろう

ITジャーナリスト・スマホ安全アドバイザー 鈴木 朋子

今の子ども達は、生まれたときからネットとともに育っています。子どもがスマホを初めて持つ年齢は12歳がもっとも多く、平均すると10.6歳です(2022年11月 NTTドコモ モバイル社会研究所調べ)。お子さんが一人で行動する機会が増える年頃に、見守りの意味で持たせるご家庭が多いようです。

確かにスマホは便利な機器ですが、一方で様々なネットトラブルにも遭遇します。ゲームや動画に夢中になってスマホから離れないお子さんに頭を悩ませているご家庭は多いでしょう。また、SNSやオンラインゲームで知り合った人に裸の写真を送りつけられたり、自分の裸の写真を送れと強要される「自画撮り被害」も多発しています。親のクレジットカードを勝手に登録、もしくは親が使っていたお古のスマホに登録されていた決済情報を使ってゲームに課金し、数十万から100万以上のトラブルになった事例もあります。

こうしたトラブルを防ぐためには、家庭のスマホルールの策定とフィルタリングの設定が必須です。お子さんと話し合ってスマホの使い方を決め、それに合わせてフィルタリングを設定します。

その際、保護者の方も勉強が必要です。家庭に合わせたフィルタリ

ングの設定方法がわからない場合は検索して調べましょう。また、子どもがインストールしたがついているアプリに出会いや課金の仕組みはないのか、必ずチェックしましょう。お子さんが一人でネットを使えるようになるまでの道のりは、自転車の乗り方や料理を教えることと同じです。お子さんがネットを正しく使えるようになるまで、親子で学んでほしいと思います。

引用元：NTTドコモ モバイル社会研究所「スマホの所有開始年齢 低年齢化は鈍化傾向」
<https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20230227.html>



鈴木 朋子 プロフィール

ITジャーナリストとして、身近なITサービス全般に関する記事を執筆している。なかでもSNSに関しては、コンシューマーからビジネスまで広く取材を行い、最新トレンドを知るジャーナリストとして定評がある。安全なIT活用をサポートするスマホ安全アドバイザーとしての記事執筆や講演、企業のSNS活用を支援するSNSコンサルタントも行う。

スマートフォン等の適正な利用に向けて

子どもたちにとって、インターネットやスマートフォン(以下スマホ等)は本当に身近なものになりました。一方で、長時間利用による視力低下や生活リズムの乱れ、ネット犯罪、いじめ、個人情報の流出など様々な問題を抱えているのも事実です。では、子どもたちがよりよくスマホ等を使っていくためにはどうすればよいのでしょうか。

まずは子どもたちが安全に使う力を身に付けることが大切です。そのためには、成長に合わせて段階的に使う範囲を広げながら、子どもたちのスキルを高めていくことも重要です。小学生のうち是一緒に使いながら学ぶことも必要でしょう。新しいアプリを使い始める前には安全性を確認したり、知らない人となつながらないための設定をしたり、してはいけないことを教えたりしましょう。

スマホ等を使っていると、つい夢中になって離れられないということもよくあります。ルール作りやペアレンタルコントロールで使い方をサポートすることも必要です。使わない時間や場所を決めたり、利用によって減ってしまう勉強時間や睡眠時間、家族との時間などをどうすれば補っていけるかを一緒に考えたりしてみましょう。スマホ等以外の楽しみを見つけることも大切です。

香川県教育委員会

また、子どもたちは時に困ったり悩んだりします。そんな時に子どもが相談しやすい存在でありたいものです。また、いざという時には以下のような様々な相談機関があることも知っておいてください。

子どもたちがインターネットやスマートフォンを賢く安全に使いながら、社会で様々な経験を積んでいけるよう、子どもたちをしっかりサポートしていきましょう。

県内の主な相談機関

香川県教育センター

子育て電話相談(保護者用)	087-813-2040
子ども電話相談(子ども用)	087-813-3119
子どものネットトラブル相談	087-813-3850

香川県警察本部

生活安全部サイバー犯罪対策課	087-833-0110(代表)
----------------	-------	------------------

香川県消費生活センター

相談専用電話	087-833-0999
--------	-------	--------------